顧客台帳から工事台帳まで一元管理できるソフトを展開

16年前に販売開始し、今ではユーザー数2000社超

トップ直撃！

工事総合管理ソフト「コモードシリーズ」を展開するのが、ノエシス(東京都港区)片山暉社長だ。社長自身、店舗内装の現場監督を長年行ってきた変り種。そこでの経験をソフト開発に生かしてきた。開発秘話と今後の展開について聞いてみた。

ノエシス
(東京都港区)
片山　暉社長

―「コモード」を開発されたのは、16年前ですか。パソコンなどまったく普及していない時でしたよね。

片山　当時はパソコンなんか誰も使っていませんでしたね。特に工務店は。

―片山さんは、もともとソフトウエア開発出身ではないんですよね。

片山　そうなんですよ。私自身は店舗内装の設計施工を行う会社で現場監督をしていました。

―ソフト開発とは、程遠いですね(笑)。

片山　ここの経験が今のソフト開発に生きているのです。私が現場監督をしていた頃、見積からパースの作成など全て一人で行っていました。大型の施設等になると見積書だけで4センチくらいの厚みになっていました。さらに店舗装飾は特殊で、見積も大変なのでできないかと、自分でパソコンのプログラムの本を見ながら作り始めたのがきっかけだったのです。

―店舗内装の会社に在籍しながら作ったのですか。

片山　現場監督の仕事は他の人にお願いして、毎日パソコンにかじりついていましたよ。システム構築の知識などまったくありませんでしたから、結構売れましたよ。その節はありがとうございました(笑)。

―こちらこそありがとうございました(笑)。「コモード」もその頃から比べるとだいぶ進化してきましたね。簡単にサービスをご説明ください。

片山　まず、「物件台帳」に入れて1日300件電話させたりしました。なかなか売れませんでした。そのときに御社の新聞に広告を出させてもらったら、結構売れましたよ。その節はありがとうございました(笑)。

―こちらこそありがとうございました(笑)。悪戦苦闘の毎日でしたよ。

―それから独立されたのですか。

片山　このソフトを販売するために、独立しました。最初は、現場監督時代の知り合いに買ってもらったりしましたが、すぐにそのネタも尽き、次に登録・見積書作成へ、契約へ、工事台帳作成へ、顧客管理といった日常業務の流れに沿って管理できるので、わかりやすいですね。

片山　各台帳間が連動していますので、同じ項目を繰り返し入力する必要もなく効率UPにつながります。

―具体的にそれぞれのシステムの内容を業務の流れに合わせて、教えてください。

片山　まず、「物件台帳」ですが、これは引き合いがあったら作成するものです。顧客名や住所の基礎データと問い合わせの内容などのコメントが入れられます。経営者の方はこれを見ながら現状を把握し、営業戦略を練ることができます。そのほかにも現調などのスケジュール管理機能、写真や提案プランなどの管理もできます。

―「見積書」は。

片山　「見積書」は、変換しにくい工事用語も自動変換で簡単入力ができます。原価も入力すること により見積段階で粗利益を把握することができます。例えば粗利が20%になるように設定し、見積金額を計算したり、定価を入力しておいて10%引きにしたり、簡単に掛け率計算ができます。現在、粗利の管理が容易にできるエクセルソフトでデータ化して、簡単で使いやすいのではないでしょうか。

―現在のユーザー数は。

片山　約2000社ですね。

―最後に顧客台帳です。

片山　引渡し後は、アフター管理として、ユーザー別に納入した設備機器の管理などができ、トラブルの際に迅速な対応が可能です。

―なるほど、業務の流れに沿ってますね。

片山　今ご紹介した機能は、ほんの一部です。そのほかにも、電話がかかってきたら、自動的に顧客台帳が起動し、ユーザーからの対応も迅速にできるなどの機能もできます。いずれにしても経営者は、常に数字で管理をすべきです。そのためにはこのソフトは、簡単で使いやすいのではないでしょうか。

―現在のユーザー数は。

片山　約2000社ですね。

―完工し、引き渡す時点になれば、請求書発行、入金管理、支払管理、労務費、材料費の管理、原価実行表なども作成・管理ができます。取引先からの見積なども簡単に取り込み可能です。

―そのまま見積書として出力できるのですよね。

片山　そうですね。さらに見積書に入力した原価をもとに発注書も作成できます。

―成約したら次は工事台帳ですね。

片山　その前に、契約書の作成ですね。これもボタンひとつで簡単に印刷できます。契約できれば、次に工事台帳です。これは工事ごとの入金、出金、粗利の管理が容易にできます。現場ごとの粗利管理、工程管理もできます。工程表、工程予定表も簡単です。完工し、引き渡す時点になれば、請求書発行、入金管理、支払管理、労務費、材料費の管理、原価実行表なども作成・管理ができます。取引先からの見積なども簡単に取り込み可能です。

―最後に顧客台帳です。

片山　引渡し後は、アフター管理として、ユーザー別に納入した設備機器の管理などができ、トラブルの際に迅速な対応が可能です。

―なるほど、業務の流れに沿ってますね。

片山　今ご紹介した機能は、ほんの一部です。そのほかにも、電話がかかってきたら、自動的に顧客台帳が起動し、ユーザーからの対応も迅速にできるなどの機能もできます。いずれにしても経営者は、常に数字で管理をすべきです。そのためにはこのソフトは、簡単で使いやすいのではないでしょうか。

―現在のユーザー数は。

片山　約2000社ですね。

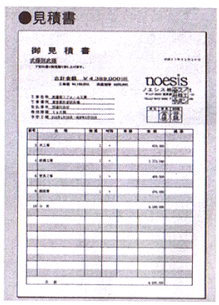
店舗内装の現場監督の経験を生かし開発

▶各台帳が連動している

▶「コモードグラン」

▶同社ホームページ

●見積書



▲見積書もクリック1つで出力

会社概要

設　立	1991年3月28日
資本金	1000万円
事業内容	ソフトウェア開発及び販売
加盟団体	ジェルコ 住宅防災事業協同組合　東京インテリアプランナー協会